

クレジット取引セキュリティ対策協議会 2023 年度以降 取組テーマ・取組体制について

1. 背景

- ・クレジットカードの不正利用被害総額は、2021 年には 330 億円を超え、2022 年は 400 億超に拡大することが予想される。
- ・2021 年の不正利用被害総額のうち、クレジットカード番号等の盗用の割合が 94%を占めており、主には非対面取引でのクレジットカード番号等のなりすましによる不正利用である。
- ・このような状況は、非保持化を達成した EC 加盟店の設定の不備や、既知の脆弱性を悪用した悪意のある第三者の不正アクセスによるクレジットカード情報の窃取や、大量かつ連続する不正アタックによるクレジットカード番号の有効性確認、フィッシングメールによるクレジットカード情報の窃取等により、これら不正に取得された入手したクレジットカード情報や静的（固定）パスワードが、コード決済や、EC 加盟店で悪用されているものと考えられる。
- ・従前では、換金性があり転売しやすい商品や配送を伴わない商品が不正利用の標的となっていたが、昨今では、その時々の商品の需要の状況によって不正利用で購入される商品が変化することから、不正利用の対象となる商品は多様化し、また比較的低価格な商品の不正利用も増えてくるなど、これまでの取組だけでは不正利用を防ぐことが限界となりつつある。
- ・このような状況を踏まえ、協議会のこれまでの取組みテーマである「対面」、「情報漏えい」、「非対面」のセキュリティ対策から、「非対面のセキュリティ対策」について重点的に取り組むとともに、これまでの「施策取りまとめ」の段階から、「試行・推進」に移行する。
- ・そのため、現在協議会に設置されている各 WG 等については、2022 年度末をもって発展的に解消し、2023 年度以降の協議会の取組テーマ、取組体制について見直しを図ることとする。

2. 2023 年度以降 協議会本会議傘下の取組体制、取組みテーマについて

2023 年度以降、協議会本会議傘下に設置する WG、分科会、並びに各会議体にて取組むテーマは以下の通り。なお、テーマについては、新たに WG、分科会が組成された後に具現化していく。

(1) セキュリティ対策推進 WG

議長：ユーシーカード株式会社

①所管

施策	取組み
・セキュリティガイドラインの維持・更新	・毎年度、必要な更新を実施

(2) セキュリティ対策検討 WG

議長：Secure・Pro 株式会社

副議長：株式会社ジェーシービー

①所管

施策	取組み
・ EC 加盟店のセキュリティ対策確認（チェックリスト）	・「試行」により抽出した課題と解決策を 2023 年度の「試行」に反映、引き続き EC 加盟店のシステム脆弱性に対するセキュリティ向上を進める。
・ EC 加盟店における非対面不正利用対策の具体的方策の検討	・ 4 方策の優先順位、高リスク商材取扱加盟店、不正顕在化加盟店への方策導入の考え方等

(3) EMV 3-D セキュア等推進 WG

議長：三菱 UFJ ニコス株式会社

①所管

〔当面の取組〕

施策	取組み
・ 静的 PW 以外の認証方法への移行	・ 2025 年 3 月末までの加盟店への EMV 3-D セキュア導入に向けて、早期に取り組む
・ リスクベース認証（RBA）の精度向上	・ イシューアの RBA 精度向上のための各事業者における取組の推進
・ EMV 3-D セキュア導入・推進	・ 2025 年 3 月末までの加盟店への EMV 3-D セキュア導入に向けた計画的な導入・拡大の推進
・ EMV 3-D セキュアの運用	・ EMV 3-D セキュアによる認証の運用方法（アカウントへの紐づけ後の決済、継続課金等）の検討
・ EMV 3-D セキュア安定稼働・障害への対応	・ 今後のトランザクション量の増加が及ぼす影響を踏まえ、EMV 3-D セキュアの安定稼働確保のための必要な措置、及び維持管理

〔中長期の取組〕

施策	取組み
・ 不正取引情報の共同活用	・ 国内 NW 事業者による不正検知機能構築、EMV3-D セキュアのリスクベース認証（ACS）でのイシューア間の共同利用、PSP を通じた加盟店の不正間利用情報の共同利用（PSP をハブとして加盟店間）による不正利用防止策の検討
・ 新たな対策手法の研究	・ 適宜情報収集、必要に応じて検討

(4) A 分科会

座長：株式会社ジェーシービー

①所管

施策	取組み
・ カード情報保護分野、対面不正対策、附属文書アップデート	・ 必要に応じた内容の更新

(5)B 分科会

座 長：ユーシーカード株式会社

①所管

施策	取組み
・ PCI DSS v4.0 への対応 (周知フォロー、維持管理)	・ PCI DSS v4.0 および他の PCI 基準の更新に伴う クレジットカードセキュリティ・ガイドライン および、附属文書に対する影響調査および改定 作業
・ PCI 仕様変更に伴う非保持化基準見直し	・ 2023 年度以降も実態や業界実情を踏まえ継続検 討

以上